

令和7年度 第1回 タウンミーティング（概要）

○開催日時 令和7年10月7日(火)午後3時30分～4時30分

○開催会場 江南高校 校長応接室

○開会あいさつ

市長 皆さんこんにちは。お忙しい中、時間をとっていただきまして、江南市のいろんなことに対して要望などありましたならば、ぜひお聞かせいただいて、次の世代、また次の時代に生かしていけたらなとそんなふうに思っております。今日は江南高等学校の皆さん方のお知恵をお借りしにやって参りました。

これまでタウンミーティングということで、市民の皆さん方の話を聞くということを1つのテーマにして、小学校の児童、中学・高校の生徒、各種団体の方々など、いろいろな思いをお聞きしています。今日は、今年度第1弾として、自由にしゃべってもらえば結構ですので、その場でお答えできることをお答えしながらやっていきたいと思っております。

○出席者と市長の意見交換

市長 最初は軽く自己紹介を学年や部活など手短にお願いいたします。

出席者① 江南高校2年です。私は一宮市に住んでいるんですけど、江南高校への通学と江南の平和堂によく買い物に行くので、生活の半分以上は江南で過ごしています。江南市のためになるような意見や提案ができたらなと思ってます。

出席者② 江南高校1年です。私も一宮市在住で部活動は新体操部に所属しています。江南高校に来た理由は、新体操部があるからです。

出席者③ 1年です。部活はサッカー部のマネージャーをしています。私は岩倉市に住んでいるんですけど、高校に入るまで江南市に来たことがほとんどなくて、全然知識がないので、今日いっぱい知りたいなと思ってます。

出席者④ 江南高校2年バスケットボール所属です。僕は一宮市の千秋町に住んでいまして、幼いころから江南市に来ることが日常的にありまして、江南市民には劣るんですけどそれなりにこのまちのことは知ってると思自負しているので、全く外部の人間でもない視点から意見をお伝えすることができればなと思っております。

出席者⑤ 江南高校1年です。テニス部所属です。僕も一宮市在住なんですけど、中学のときから友達と江南のアピタに行ったりしてて、でもあんまりこっちの方面は高校入るまで来たことがなかったんで、もうちょっと知れるようにしていきたいと思います。

出席者⑥ 江南高校1年です。美術部に所属しています。犬山市に住んでいて、江南高校に入るまでは江南市に来たことは、あまりなかったのですが、来るようになって、調べてみたりして、気になったことを聞いてみたいなと思っております。

出席者⑦ 2年です。箏曲部に所属しています。江南市にずっと住んでいて、江南市で一番

好きな場所はフラワーパークです。市民として、今日はいろいろ深いところまで話できたらいいなと思っています。

出席者⑧ 2年です。私も江南市出身で、江南厚生病院で生まれて、ずっと江南市に住んでいるので、江南市については詳しいかなって思ってます。

市長 ありがとうございます。それぞれ皆さん方、考えていただいているようなので、特にテーマなく、自由にまた質問等を述べていただければ結構です。

出席者① 江南市は、洪水は結構危険性があるかもしれないんですけど、地盤が固かったり、山が近くにないから土砂崩れが起きない土地だったり、災害には強めの土地だろうなと思っています。なので、子育て支援などの福祉を充実させて、災害に強く安全に子育てがしやすいまちとして、他の地域の人にアピールをしていけば、この江南市の高齢化や人口減少を防げるんじゃないかって考えてきたんですけど、そういった福祉的な面ではどうでしょうか。

市長 江南市おっしゃる通り山ない、海ありません。崖崩れない津波来ない。そうした中で、木曽川の恩恵を受けましてちょっと掘るとすぐ水は出てくるんですけども、こんな玉石が出てきたりして、これは自然の免震装置じゃないかなと思ってるんですよ。地震が発生して、テレビで一宮市震度2、犬山市震度2と出て、その間の江南市が震度1だったりするんですよ。こういったことで例えば企業さんも津波が来るところよりは、何もないところに進出したいなって思うんでしょうけども、何せ江南市のイメージというか、あまり名が知れ渡っていないので、今一生懸命江南市のPRをしようとしています。子育ての中で、江南市は安全だよっていうことも含めて言えるというのは、方法の1つとして非常にいいのかなって思ってる。企業さんに対してはそういったようなことは言ったことがあります。ぜひ江南に進出してくださいよ、地面固いですよとかね。ぜひそういったことにも生かさせていただいて、良い意見をいただきました。

出席者② 江南駅を利用する際に、座って待ってる場所が少ないと感じています。一宮駅などと比べても休憩できるベンチやスペースが少ない印象です。電車や迎えを待つ人、高齢の方なども多いと思うので、座れる場所や勉強できる場所がもっと増えると便利で温かみのある駅前になるのではないかと思います。今後そのような整備の予定はありますか。

市長 高齢者には優しくというようなことで、例えばバス停にベンチを置いたりっていうことはやろうと思えばやれるんですけども、なかなか場所の問題とか、江南市の土地じゃないもんですからお借りをしたりとか、道路に置いたりすると邪魔になったりするっていうこともあってね、確かに少ないと思います。ちょっと考えましょう。置ける場所があるといいのかなって思っております。江南駅の話になってきますけれども、今布袋駅の方が少し綺麗になりましたよね。座ったりする場所も江南駅よりは多いかと思っております。今、江南駅周辺の交通計画の調査をしまして、どのような交通計画を今後立てていくかということに重点を置こうかと思っております。その先に、面整備、つまり区画整理だとか、まだそこまでの計画はありませんけれども、地域の方々とお約束の中で、だんだん江南駅の方も変えていきたいなって思ってます。またいいアイデアがあったらどんどんください。

出席者③ 岩倉に住んでいるので、帰るときに江南駅で名古屋方面行きの電車に乗ろうとしたときに、一度同じタイミングで犬山方面の電車が来て、そっちの方が早く扉が開いて

人がたくさんおりてきて、ホームがその人たちで一杯になっちゃって、名古屋方面行きの自分の乗りたい電車に乗れなかったことがあって、そういうことが少しでも減ったらもっと安全、安心に使えるのかなって思います。

市長 同じ時間に停まる電車ありますよね、夕方に。江南市のことではありませんけども、なかなかダイヤがあったり難しいと思うけど、名鉄さんにお話だけはできるかと思います。

出席者④ 今思っていることが幾つかありまして、まず1つは、江南市の都市政策というか布袋駅周辺の再開発等で、江南市の中心部だけでなくその周辺の場所にも力を入れていただいているということで、江南市民ではないですけど、そちらの施設を利用させてもらうことも多いので、すごくいいなと思うんですけど、1つ、思うようになったのが、江南駅周辺の路地裏が暗いところがありまして、一部ちょっとアスファルトがでこぼこしてるところもあって、特に暗いと転倒の危険性もあるので、他の場所でも何ヶ所か見てきたので、そういうところへの対策を知りたいというのと、道路交通法が改正されて、自転車の罰則が厳しくなるときに、自転車の左側通行の原則がある中で、江南市の中でも、左側通行をしたいんだけど、用地的に厳しくて右側を通らないと危ないかなっていう道は数本あると思うので、道路交通法の改正に合わせて、そういう面での安全性の確保を考えてらっしゃるのかを聞きたいです。

市長 まず暗いところについては、調査をさせていただいて、盗難であったりとか、様々な問題が出てはいけませんので、中には明るいのを嫌う人がいたりするんですよね。場合によっては、それも気をつけなければいけない1つで、やっぱりずっと住んでいる人が、街路灯がついたことによって嫌う人がいたりするっていうのは、あります。安全面については、しっかりと確保していきたいと思いますから、アスファルトの穴があいたようなところについても、怪我につながってはいけませんので、直せれるところはすぐに直したいと思っておりますので、担当に現場を見てもらって、明るい暗いという問題と道路の問題とお伝えします。それから自転車の左側通行は、大分良くなってきましたけども、ヘルメットをかぶるというようなこととか、傘差し運転とか、もうこれは駄目です。ましてやスマホを持ちながら運転してるのは過去にも言いましたけども、そういったものは今後厳しく道路交通法で場合によっては検挙されます。右側通行については、場所によっては歩道のところを行ってもいいというようなところがあったりしますが、やはり車道を走るというのが基本らしいんですけども、非常に危なくてやむを得ないところは、おっしゃったように右側を通ってもいいんですけども、運転してる方からすれば危険だなんてやっぱり思います。なかなか道路の幅を広げたりというのは現在、限界はあります。子供たちの通学のために緑のラインを引いて色が塗ってあるところは通学路ですよという表示がしてあるので、そうした色が塗ってあれば、そこを車が入ることが少ないので、そういったようなことができればいいのかなと思っております。道路の幅が狭いと、わざわざ自転車のために作るのも難しいと思いますので、私の方で警察とお話をさせていただきますが、江南市で、そうした右側通行にならないような方策をとればいいのかと思うんですけども、具体的な場所をまた教えていただければ、見に行って、対応したいなと思います。

出席者⑤ 駅の周辺の暗いところのさっき、お話してたんですけど、この季節とか部活の帰りだとどうしても暗い時間になって、駅のところを歩いて自転車で帰ることもあるんですけど、危なそうな人たちがたむろっていることが路地裏とかであります。

市長 まず自転車に乗る際は気をつけていただくということと、自分自身が自分を守るこ

としながら、もちろん無灯火も駄目ですし、ヘルメットも大事ですので、そうした交通法規を守ること、それから、暗い箇所については、指示して見させていただきますね。

出席者⑥ 江南市として洪水にどう対応するのか、避難訓練などを行うのかお伺いしたいです。

市長 洪水というと、どちらかというと津波のようなものを想像したりするんですけども、江南市平坦なので、低いところ川に近いところは一時的に水もたまります。そうしたところできるだけ水が入ってこないような設備を設けて、止水板とか、浄化槽を一時的に水をためるものに変えたりだとか、樋から落ちてくる水をできるだけ地下へ浸透させようという浸透枳など普及をし始めまして、そうした個人の家を守るための方策については、用意はしております。あとは全体的なハザードマップって言いますよね。もし木曾川が決壊した場合に、江南市は川の南にあるから江南市っていうんですけども、この川のここで切れたら、このあたりが水没しますよとか、最低 30 センチぐらいから 3 メートルぐらいまでの幅でハザードマップを作っています。ここで切れた場合にはこうですって、江南市中、色を塗っていくと、ほとんど色がついちゃうんですね。深い水位になるところについては、色が濃く、そうでないところは浅いんですけども、ほとんどが水没する可能性はあります。ただ、江南市全部がそうになってしまうということは想定はしていませんけれども、そうしたときの体制づくりについてはやっていかなければいけないと思っています。集中豪雨については雲の航空写真などで判断できるようにはなりましたが、なかなか一時的に降る雨についての対応は難しいとは思っています。1 時間当たり 50 ミリ降るともう完全に側溝から溢れてきますので、いつも水没するところについては、川幅を広くしたりだとか、そういった対応も今までしてきましたけども、最初に言ったようになかなかそれだけでは対応しきれませんので、難しいところがあります。ハザードマップで、自分で解決してもらわなきゃいけないことはあるとは思っています。随分昔を思うと、長期間に水がたまる場所は少なくなってきたかなと思っています。ここのところの集中豪雨についてはまだ今のところ大きな被害はないんですけども、5 年以上前に五条川が、大口町側に氾濫したときがありました。あのときは、道路が水没をしましたけども、江南市側については、床下浸水もありませんでした。ただ、大口町側は、床下、床上浸水もあったと思います。すぐに河川を管理している県にお願いをして、日頃から水の推移を見る機械を取り付けてもらったり、泥とかそういったものが溜まると川の流れが悪いので浚渫してもらったりして、それからあちらこちらに貯留池を作ってるんですね。県で作ってもらったりとか市で作ったりとか、大雨が降ったときに川の水を一旦そこへ流し込んで、雨が上がったところにたまったものをまた川の方へ戻すことで、軽減をしてきました。もちろん県の指導もあって、川幅を広くしてますけれども、以前とえば、随分良くなってきましたけども、集中的な短時間の豪雨については、もうあるものとして構えなければいけないと思っています。防災訓練につきましては、小学校ごとにチェック、小学校の町内会に防災会ができていて、防災会が地震の想定をしながら、小学校にまずは来ていただく、そこでいろんな訓練をするということを必ずやってます。年に 1 回。訓練は基本的な消火栓の使い方、消火器の使い方、炊き出し、それから、簡易トイレを作ったり、最近はキャンプで使うようなテントのようなもので間仕切りがあってその組み立て方、応急手当訓練、そうしたものを今やってます。それから、年に 1 回、もう少し規模を大きくして、総合防災訓練をしています。今年から少し形を変えて、KTX アリーナ市民体育館でやることにしています。こうしたことが、いざといったときに役立つためにやってはいると思うんですけど、間違いなく忘れてしまうと思います。そうじゃなしに、防災に対する意識を上げていかなければいけないということが一番だと思います。新しい国の発表では、東南海トラ

フ地震、30年間の発生確率が先日変わりました。60%から90%以上程度というふうに変わりましたが、明日来るかもしれないというのが、もうこの30年間で、必ずこの90%という高い確率できますので、そういうことを準備しておいてくださいよ、心の中で、覚悟しといてくださいよというようなことのためにもやっています。例えば建物は耐震化診断をしていただいて、場合によっては補助も出ますので耐震工事をするということ、それから最低3日間の飲み水、食料品を用意しましょう。飲み水は1人1日3リットル、3日間だと9リットル。水については耐震構造の家の頑丈なつぶれないところに置いて、落ち着いたときに取りに寄るという程度でいいかと思います。あとはアルファ米といって、水やお湯を入れて食品に戻す、そういったものがあります。賞味期限が長いので、そういったものを用意していく。ただ、1年1年切れてきますから、防災訓練があるときに入れ替えてくださいっていうことを、いつもお願いをしています。人によっては眼鏡や薬が必要であったりしますから、そうした何を必要とするかというリストを作っておいて、用意しておく。行政が用意できるものはおそらく3日、4日目以降じゃないかなと思っています。また江南市については先ほど言いましたようにひよっとしたら震度が少し緩やかになると、ここは基地になってきていっぱい物資が集まってきますけどもそこからいろんなところへいくと、中継基地になってしまっただけで物が届かないっていう可能性も出てきますので、自分のところに、各用意をしていただいた方がいいのかなって思っています。

出席者⑦ 私は江南駅の踏切周辺の渋滞についてお話を聞いて、江南駅って、ものすごく人の出入りが激しくて、車の通りも多くて、通勤とか帰宅ラッシュのときに駅に人がすごく集中して、横断歩道の歩行者が途切れなくなって、車と歩行者の間で詰まることがあって、まだ重大な事故に発展していませんけど、踏切から出られない車があったとか、そういうことになる前に、別の場所に横断歩道を設置するとか、動線を少し工夫するとか、具体的な対策をぜひ早急に検討していただきたいなと思います。

市長 ものすごくよく言われてます。江南駅は、江南市の中でも中心ですので、布袋駅が新しくなって、古知野地区の方々については、もっと良くして欲しいと。朝の通勤時間帯の状況は承知をしていて、今、警察とも相談をしながら、交通量調査をしてどうしたらいいのか、場合によっては今の江南駅のすぐ北側1号踏切というんですけども、今言った危ないトイレのところの、そこをもう時間帯だけ限って一方通行にしようってこととか、通行禁止にするとか、そういったような意見も出てくるんですけど、そこに暮らしてみえる人たちにとってみたらすごい不便ですよ。また万が一そこ通れなくなったら江南高校に通う子供たちが不便だと思いますし、そういった方たちの声を聞くと、本当にちょっと時間をかけてやらないといけないかなと思って、今一生懸命、絵は描こうとしております。まずそういった道の流れをやっている、布袋駅のように、スーパーマーケットを呼びながら新しい図書館とか保健センターとか、子育て支援センターのようなものをあそこに集中させるということによって、いろんな人が集まり、今新しい保育園もできますし、変わってきたと思っています。そうしたものを江南駅の方でもできたらいいかなという計画を早急にしないといけないんですけども、財政上の問題があって莫大なお金がかかります。行政の負担が多くなってきて、福祉とか教育にもお金をまわしていかないといけない中で、上手なお金の分配の考え方をこれからしていこうと思っています。

出席者⑧ 私も布袋駅と江南駅周辺を比較しての話になるので、先ほどの話とかぶるところはあるんですけど、私はお店に注目して考えて、江南駅周辺は居酒屋とかサラリーマン向けのお店が多いように感じるんです。布袋駅は、たくさんの年代の人が行けるようなカフェとか、そういう施設が多いと思っています。ちょっと江南駅から外れて大きい道路

に出ると、サイゼリヤとかいっぱいお店がある道路もあるんですけど、電車を使ってきた人が歩いて行くとなると、ちょっと遠いかなって感じるんですね。江南駅は特急も止まるし利用者数も多いと思うので、江南駅の周辺に、例えばファーストフード店とかカフェとか、さっきおっしゃられていたように交通計画をされてからだとは思いますが、そういうお店を検討するだとか、例えばチェーン店じゃなくても、江南市ってたくさん特産品もあるし、農家の方とで地産地消のお店とかもできたら、市全体のにぎわいとかも増えるし、特産品も有名になるんじゃないかと思っているので、難しいかもしれないですけど、検討をお願いしたいと思っています。

市長 難しいとこですね。例えばコンビニが江南駅前に1店ありますが、通常だとコンビニだと車で乗りつけて、ついでにこれも買っていこうみたいなことがあるんですけど、駅のコンビニを利用する人は、限られたものしか買わない。ほとんどが駅利用者なので、余計なものは持たない。にぎわいのことを言えば、確かに布袋は意識的に若いお母さん方をあそこに集めようっていうことと、市民の活動センターを作ったんですね。地域交流センターができたときに、そこでいろんな会合をやったり、催し物をやったり、中には、その人たちがキッチンカーを呼んだりして、お祭りまでやったりとか、駅とトコトコラボの間の自由空間、あれ実は本当は道路なんですけども、江南市の許可だけである程度自由に使っていていいよっていうふうになってますので、車も乗り入れたりして、先ほど話もあったけども、ベンチも置いたりできるようになったんです。そうしたにぎわいっていうものをやろうと思えば地産地消のものもやれますよね。江南駅はまずそういったスペースがないっていうこと、それから、地下駅の改札というの、少し弱点なのかな。名鉄と一体化をして駅前開発をしようとする、まだ相当時間もかかりますし、難しいとこですが、もし面整備をするとしたならば、駅前にも江南市の施設があったりとかね、人を集める方法をしなければいけないのかなとは思ってます。今言われたように、飲み屋街になってしまってるのは否定できないと思います。特急がとまるのは唯一の特典のようなものですからね。まちづくりって難しいですね。コンパクトシティー化をしていこうという国の方針があって、中心街にできるだけ人に寄って来ていただいてそこで生活をする。例えば下水道なんかも古い計画ですと、江南市の淵の方まで下水道を完備していこうと計画をしてたんですけど莫大なお金がかかるということと、浄化槽が今良くなってきましたので、そういった浄化槽をそれぞれで補助を出しながら入れていただければ、環境は悪くはなっていない。公共交通の話は今日出ませんでしたけども、江南市公共交通っていうのは、基本的には名鉄バスとタクシーも一応公共交通に入れてますが、江南市は巡回バスみたいなものはありません。そうした希望が多いんですけどものすごくお金がかかる割には乗る人が少ないというデータが出ているので、ちょっと高いんだけど、半分行政が負担しますので半分の金額でタクシー乗ってくださいよというやり方を今江南市は取ってます。今それでも新しい公共交通の考え方は持っていますけれども、そうしたものを、皆さんが中心部に集まってくれば、そういったバスも必要なくなっていくだろうという国の大きな考え方もあります。将来的にそう見ながらやっていかなければいけないと思いますし、今度総合計画というの、10年ごとに計画を作っていきますけれども、大きな視点でもってどうしていくかっていうことを、やっていかなければいけないと思っています。皆さん方、言い足りないこともひょっとしてあったかもしれませんけども、本当によくまとめていただいて江南市の今の問題点を、明らかにしていただきました。ありがとうございました。